

医療資源投入量から見る 急性期病院・急性期医療 (2013年4月25日)

研究者；社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 理事長・院長
相澤孝夫

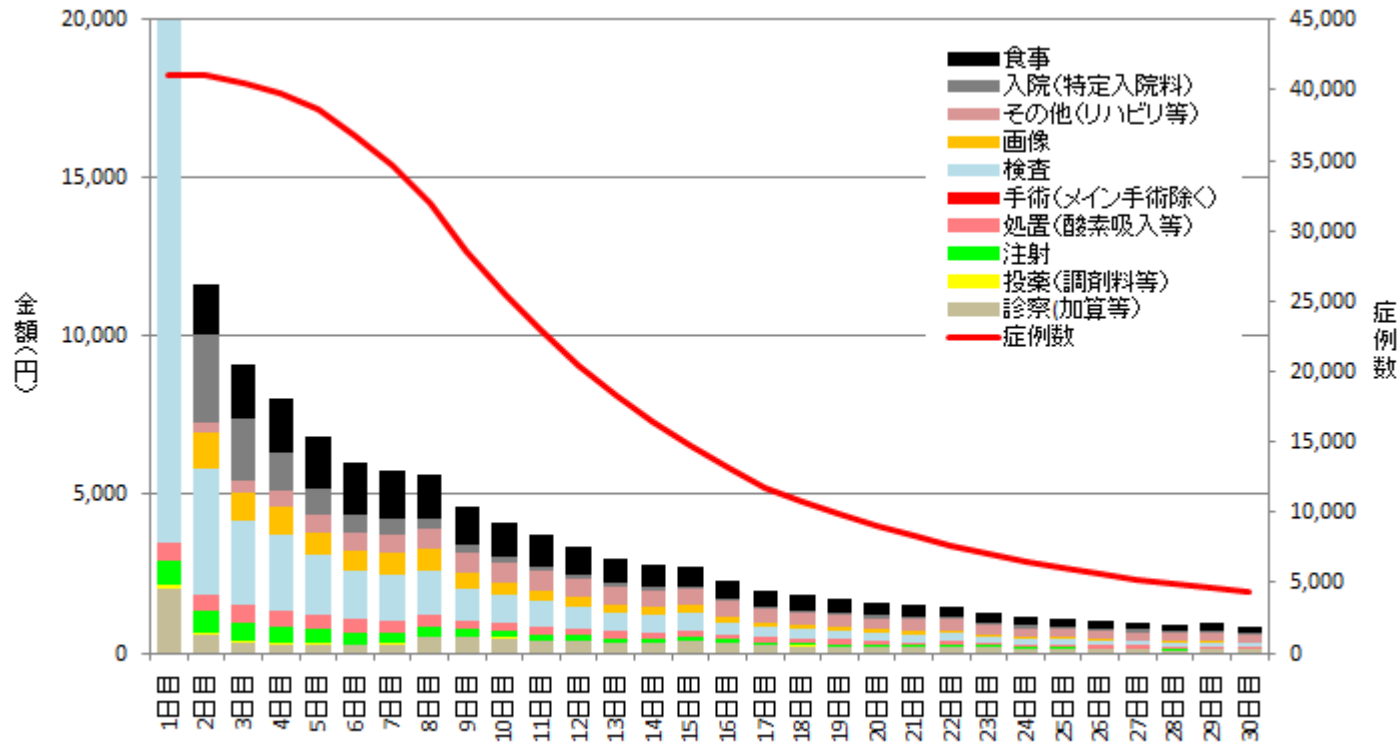
前回での報告

- 医療資源投入量の推移から2～3段階の変化が認められる。
 - ①;検査・画像が落ち着くタイミング
 - ②;急性期治療が落ち着くタイミング
 - ③;退院ができるタイミング
- 「高齢者は回復が遅い。年齢層別にするとかなりクリアになると期待できる」
- 「急性期や亜急性期など現在の分け方を患者や患者の家族に説明しようとする、診療区分での区分けということしか説明できないが、こういう医療が必要な場合は亜急性期だというふうであれば理解できる。分けるなら医療の中身ではないかと思う」
- 「イメージが分かりやすい」
- 年齢層別の違い
- 看護必要度や看護配置との相関性

【成人市中肺炎】 1症例あたり手技料金額 入院日毎推移

040080x099x0xx 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし

600病院 41,118症例



病院数	600
症例数	41,118
予定・救急区分 (すべて)	
年齢区分 (すべて)	

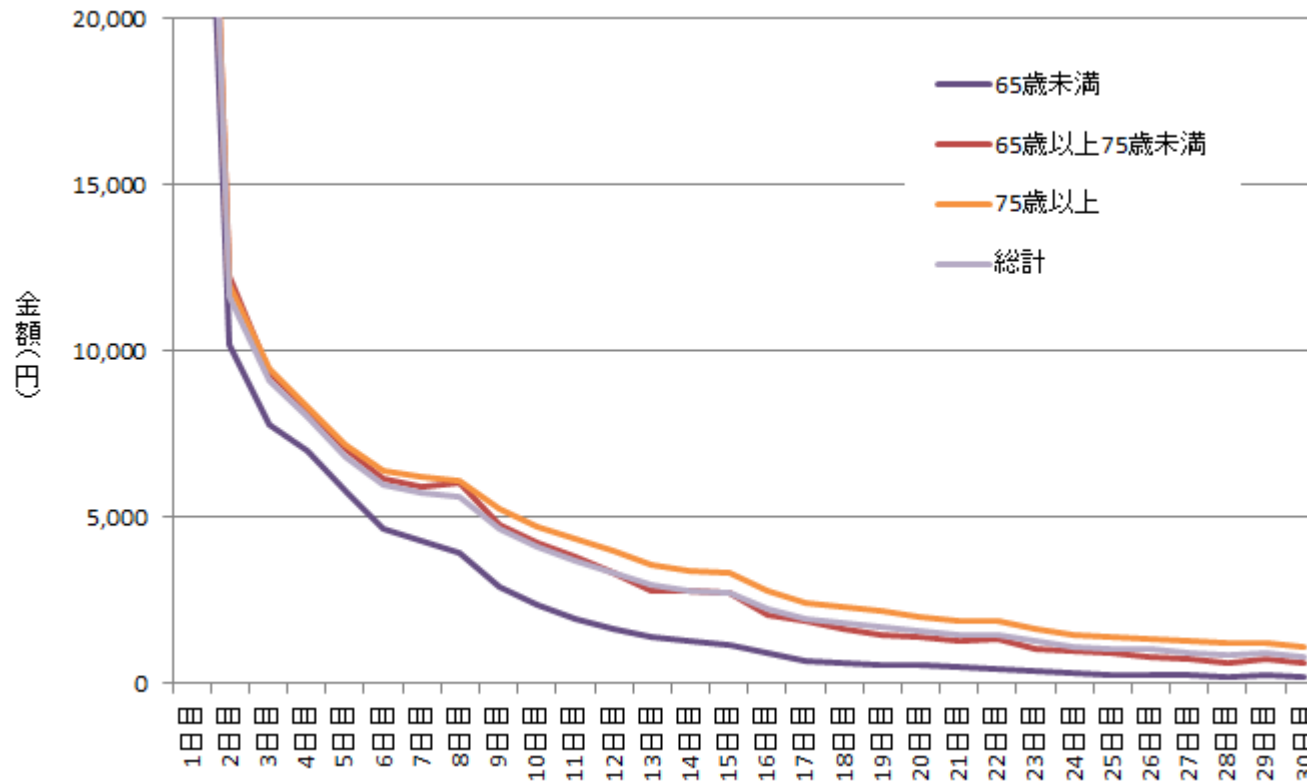
65歳未満	9,371
65歳以上	7,396
75歳未満	
75歳以上	24,351

【成人市中肺炎】 1症例あたり手技料金額 入院日毎推移

040080x099x0xx 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし

600病院 41,118症例

【年齢別】



病院数	600
症例数	41,118
予定・救急区分 (すべて)	
年齢区分 (すべて)	

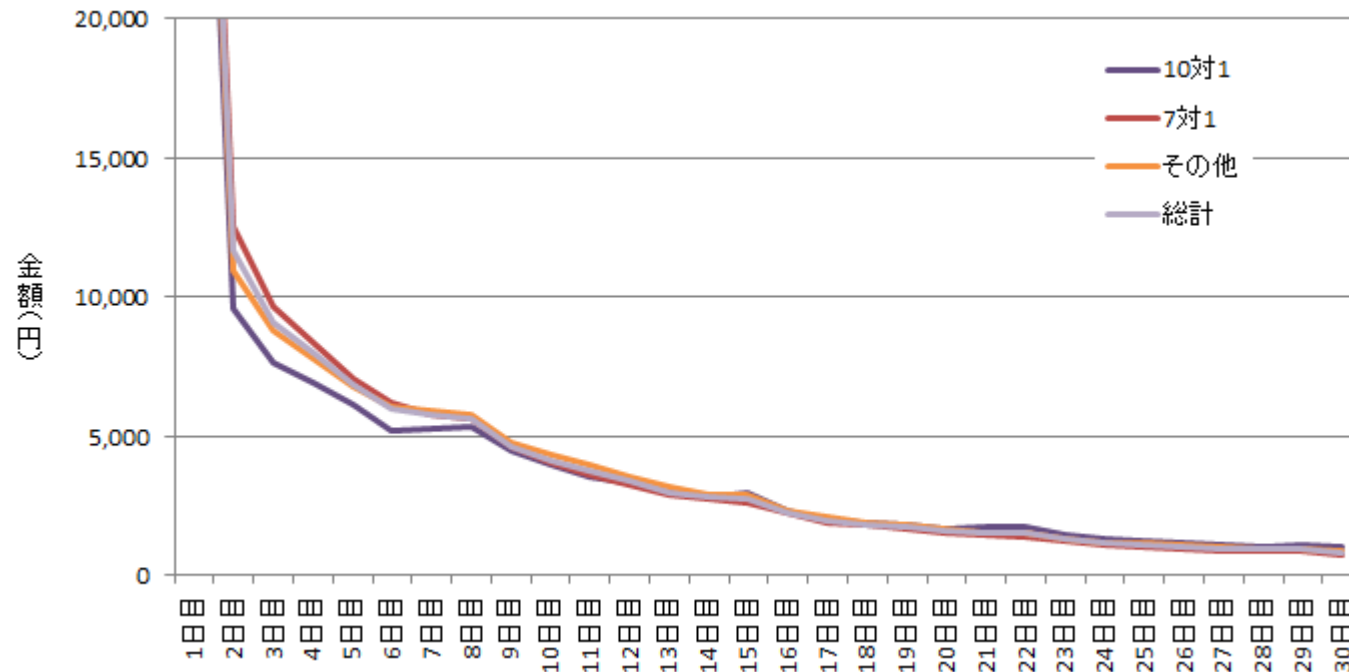
65歳未満	9,371
65歳以上75歳未満	7,396
75歳以上	24,351

【成人市中肺炎】 1症例あたり手技料金額 入院日毎推移

040080x099x0xx 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎(15歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし

600病院 41,118症例

【看護配置別】

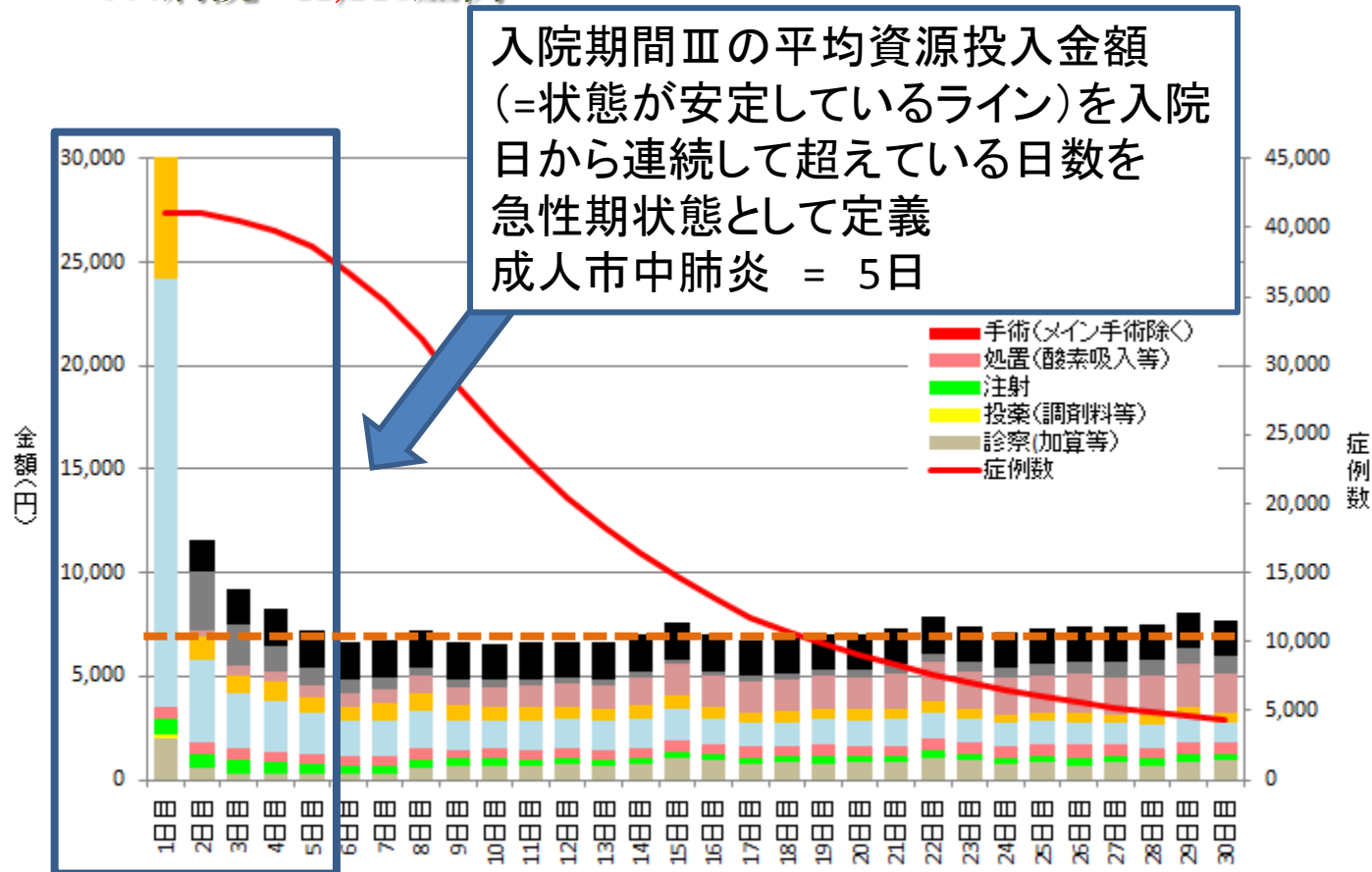


病院数	600
症例数	41,118
予定・救急区分 (すべて)	
年齢区分 (すべて)	

65歳未満	9,371
65歳以上	7,396
75歳未満	
75歳以上	24,351

【成人市中肺炎】 1症例あたり手技料金額 入院日毎推移

600病院 41,118症例



病院数	600
症例数	41,118
予定・救急区分 (すべて)	
年齢区分 (すべて)	

65歳未満	9,371
65歳以上	7,396
75歳未満	
75歳以上	24,351

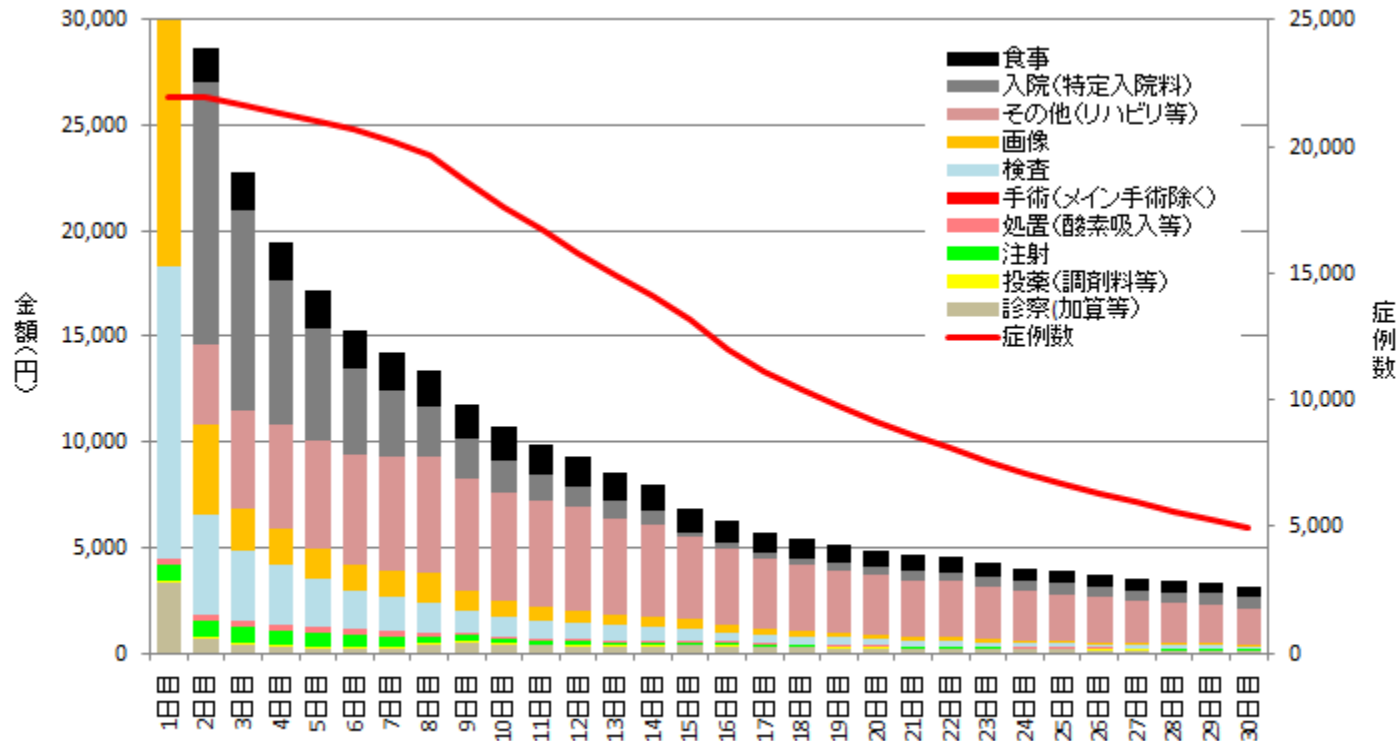
疾患	肺炎
期間Ⅲ(日)	15~30
期間Ⅲ平均 合計金額	7,405円
急性期日数	5日間

※入院日毎症例数で入院日毎医療資源投入金額を除算

【脳梗塞(エダラボン)】 1症例あたり手技料金額 入院日毎推移

010060x099030x 脳梗塞(JCS30未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等23あり 副傷病なし

563病院 21,939症例



病院数	563
症例数	21,939
予定・救急区分 (すべて)	
年齢区分 (すべて)	

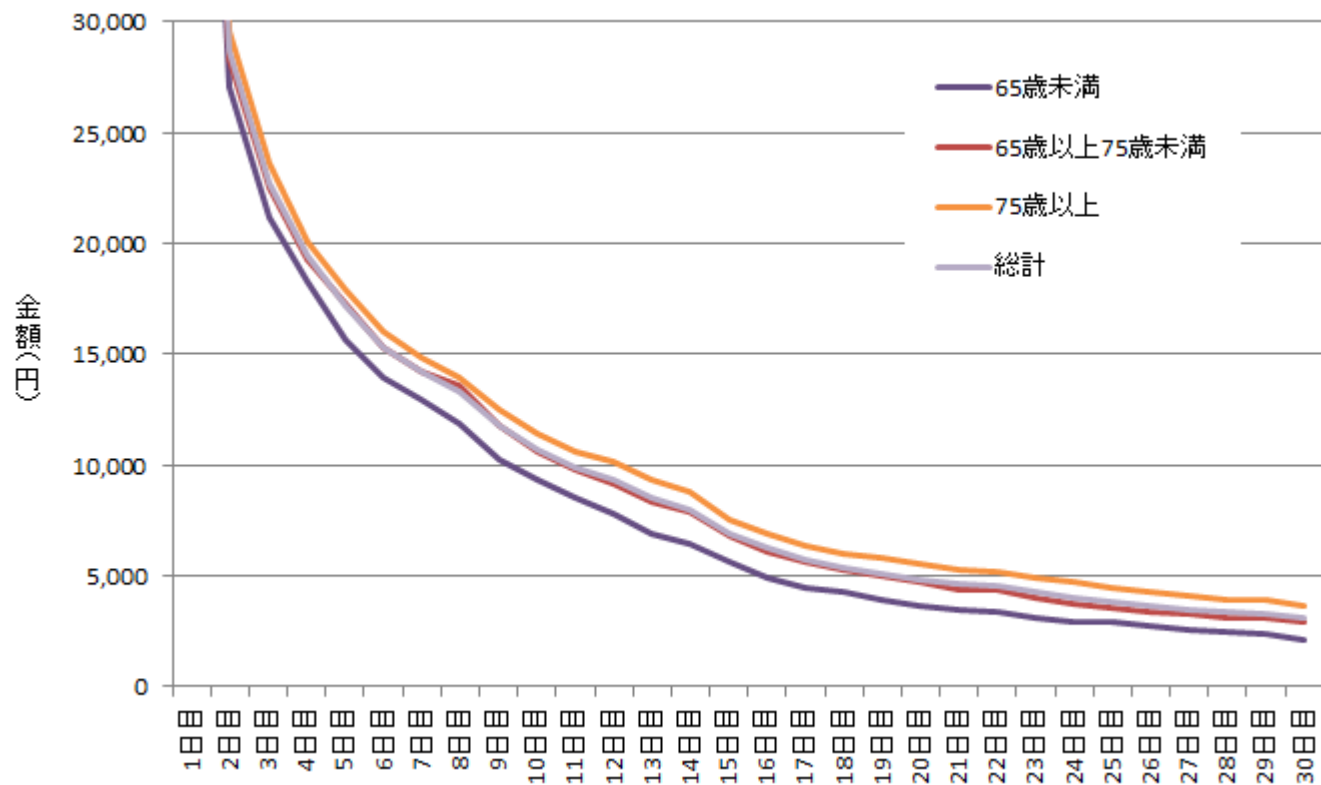
65歳未満	5,279
65歳以上	5,854
75歳未満	
75歳以上	10,806

【脳梗塞(エダラボン)】 1症例あたり手技料金額 入院日毎推移

010060x099030x 脳梗塞(JCS30未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等23あり 副傷病なし

563病院 21,939症例

【年齢別】



病院数	563
症例数	21,939
予定・救急区分 (すべて)	
年齢区分 (すべて)	

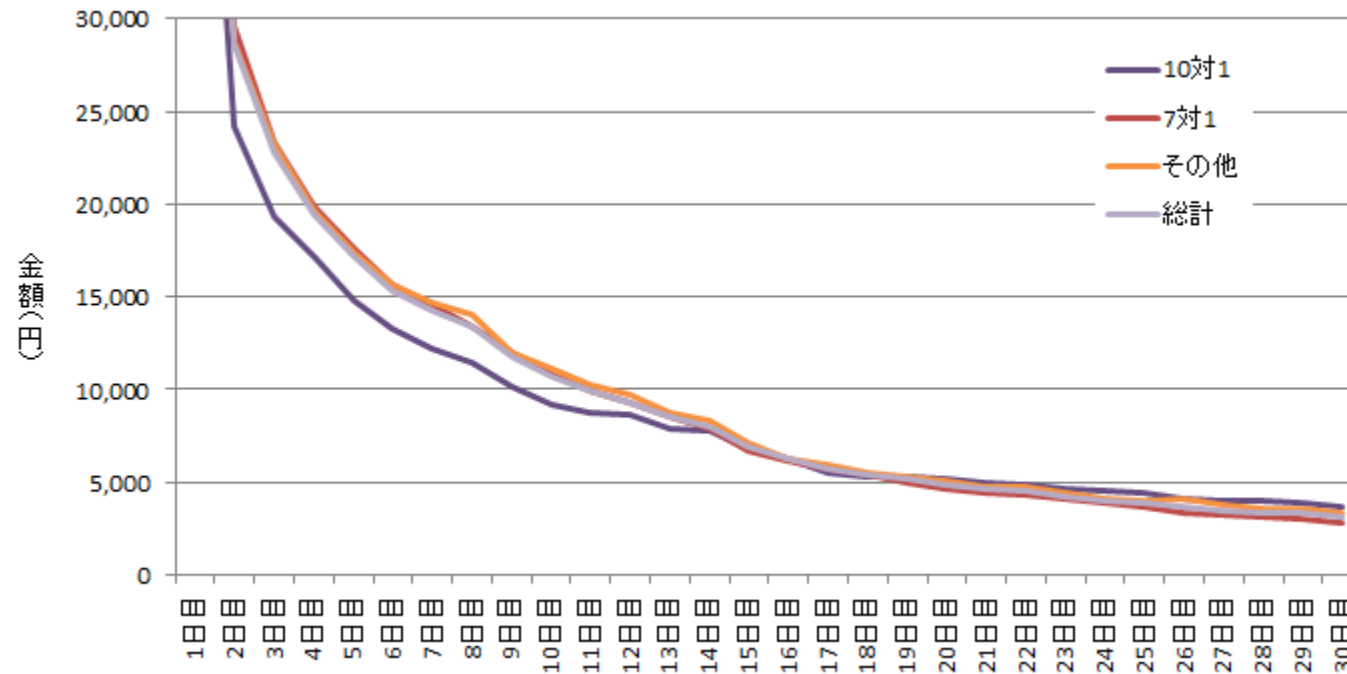
65歳未満	5,279
65歳以上75歳未満	5,854
75歳以上	10,806

【脳梗塞(エダラボン)】 1症例あたり手技料金額 入院日毎推移

010060x099030x 脳梗塞(JCS30未満) 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等23あり 副傷病なし

563病院 21,939症例

【看護配置別】



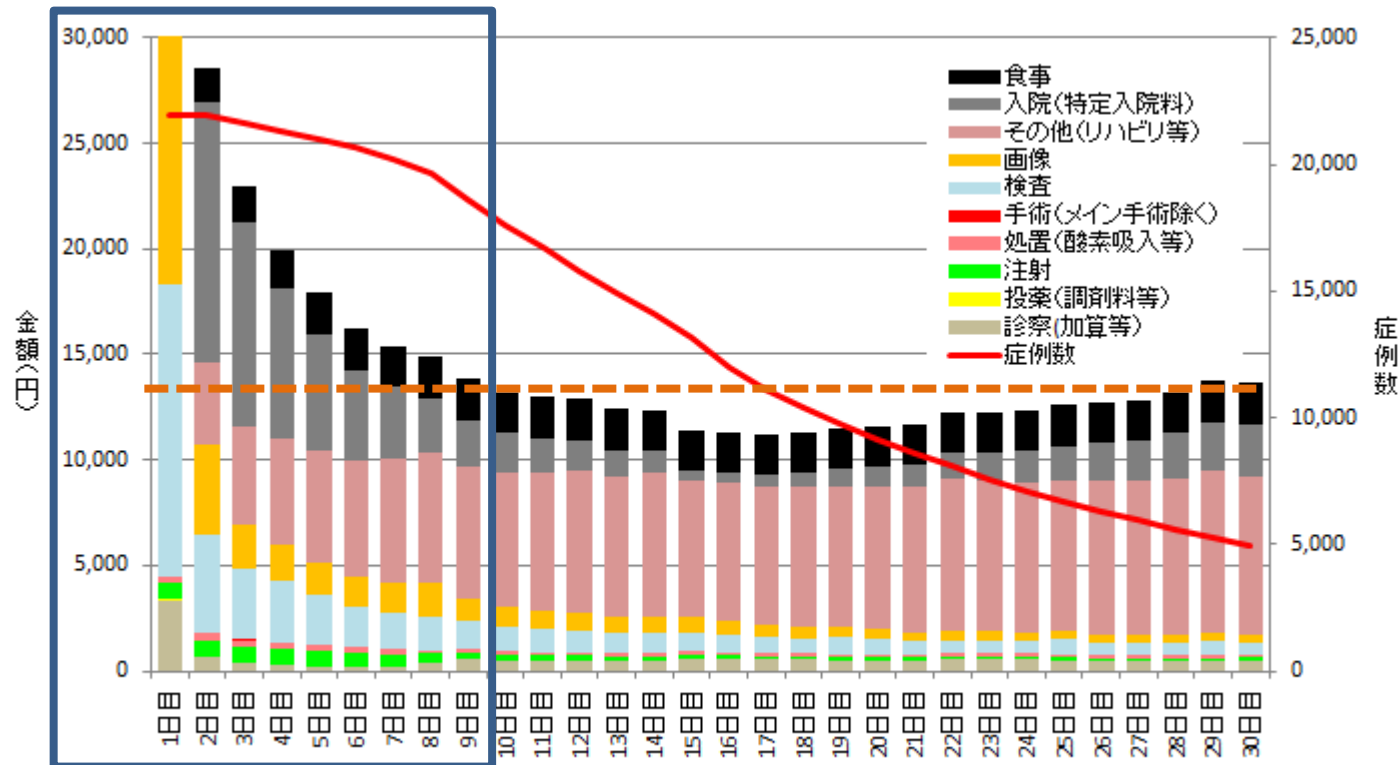
病院数	563
症例数	21,939
予定・救急区分 (すべて)	
年齢区分 (すべて)	

65歳未満	5,279
65歳以上	5,854
75歳未満	
75歳以上	10,806

内科系疾患

【脳梗塞(エダラボン)】 1症例あたり手技料金額 入院日毎推移

563病院 21,939症例



病院数	563
症例数	21,939
予定・救急区分 (すべて)	
年齢区分 (すべて)	

65歳未満	5,279
65歳以上	5,854
75歳未満	
75歳以上	10,806

疾患	脳梗塞 エダラボン
期間Ⅲ(日)	19～39
期間Ⅲ平均 合計金額	13,388円
急性期日数	9日間

※入院日毎症例数で入院日毎医療資源投入金額を除算

ここまでのまとめ

- 疾患によって、資源投入量に年齢差がでるものもあるが、入院基本料(人員配置)による違いはほとんど見られない。
- DPCの入院期間Ⅲの平均資源投入金額(＝状態が安定しているライン)を、入院日から連続して超えている日数を急性期状態と定義することで、必要病床数を算出することも可能である。

病棟別 急性期医療必要度

研究者；社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 理事長・院長
相澤孝夫



商標登録 第5534828号

病院内での急性期度合を評価すべく、判断基準を「病床」単位よりは「**病棟**」単位で行っていくことは出来ないだろうか。

⇒相澤病院をはじめ、各病院での評価方法、検討していく。

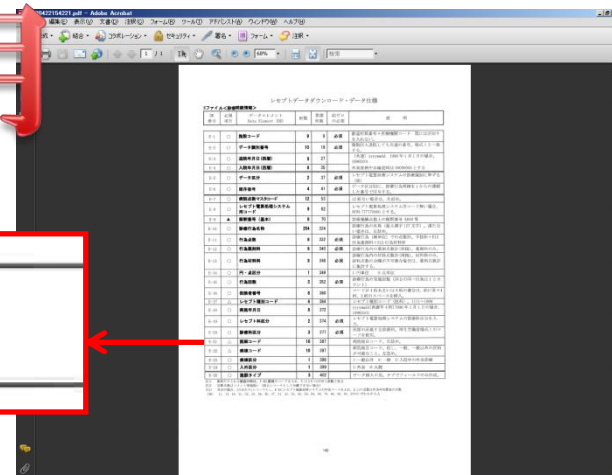
病棟データを新に病院に作らせては、各病院の負担になってしまう。
既存のデータから活用が出来ることがベスト!!

→DPCデータの活用

Eファイル→

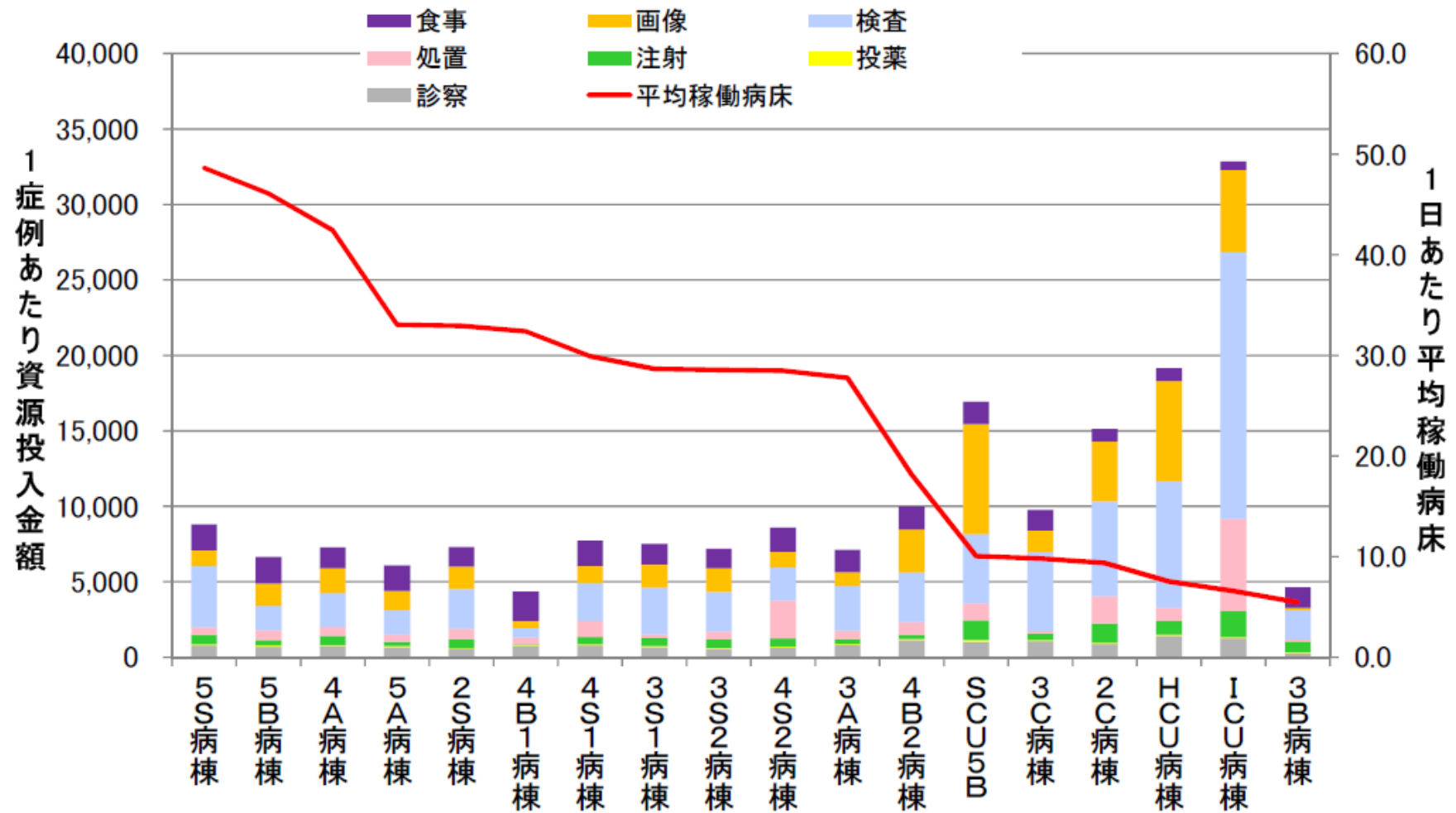
E-22	△	病棟コード
------	---	-------

※「DPC導入の影響評価に係る調査」実施説明資料より



【病棟別 1症例(ベット)あたり資源投入金額】 手術請求・入院請求・その他の請求を除く

【相澤病院】



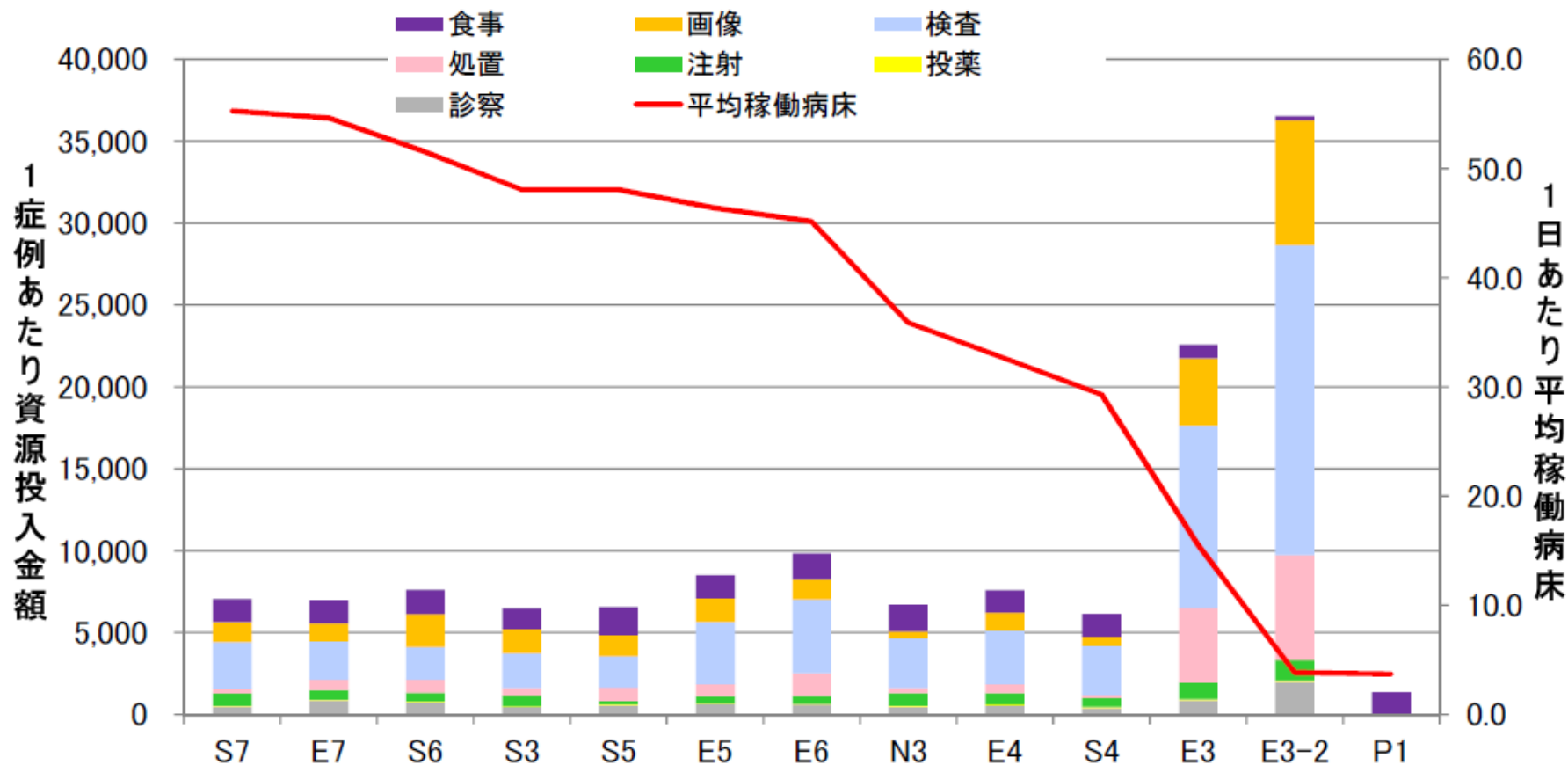
160800xx01xxxx 股關節大腿近位骨折 人工骨頭插入術 肩、股等



Aizawa Hospital

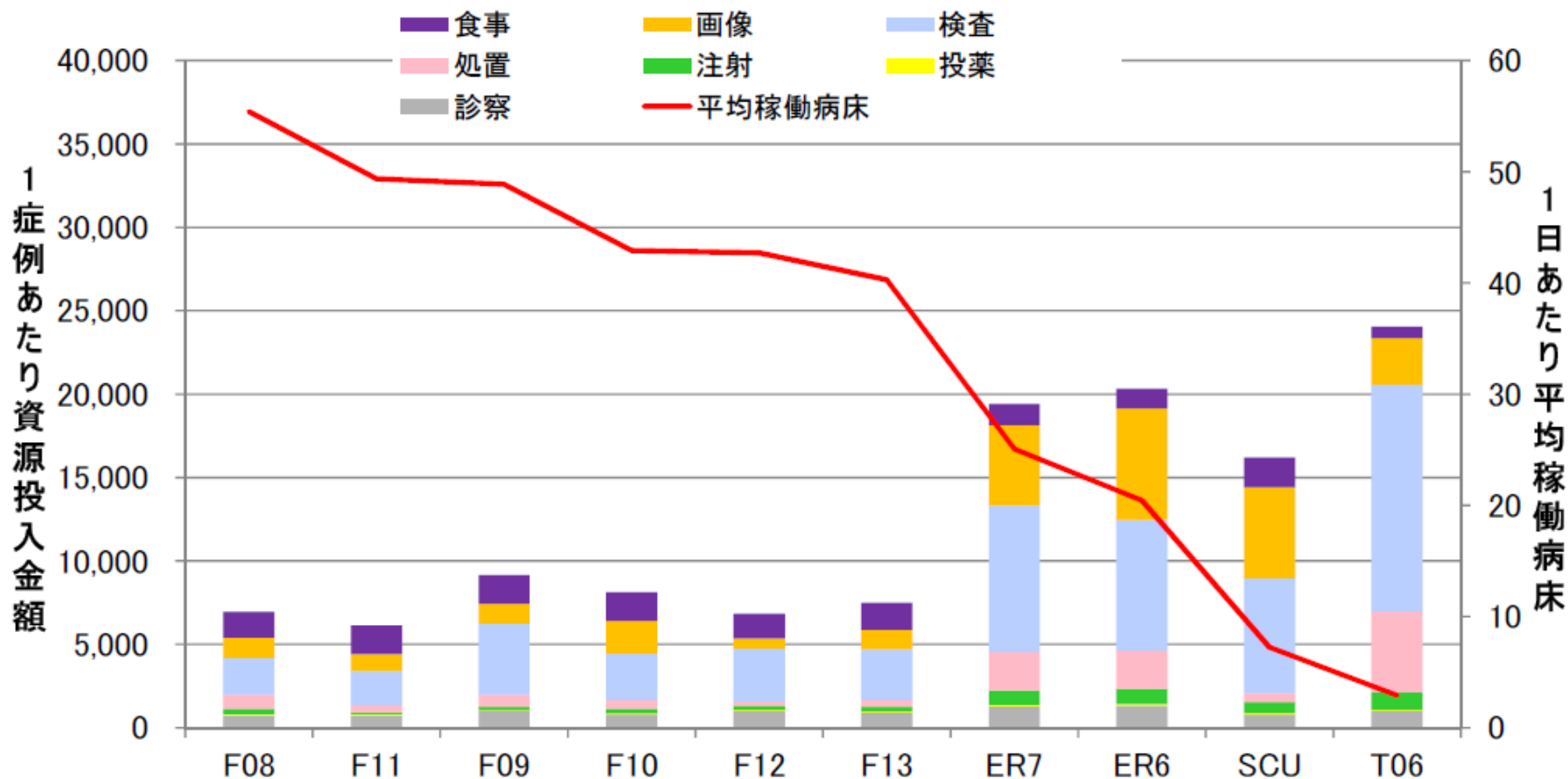
【病棟別 1症例(ベット)あたり資源投入金額】 手術請求・入院請求・その他の請求を除く

【公立A病院(500床以上)】



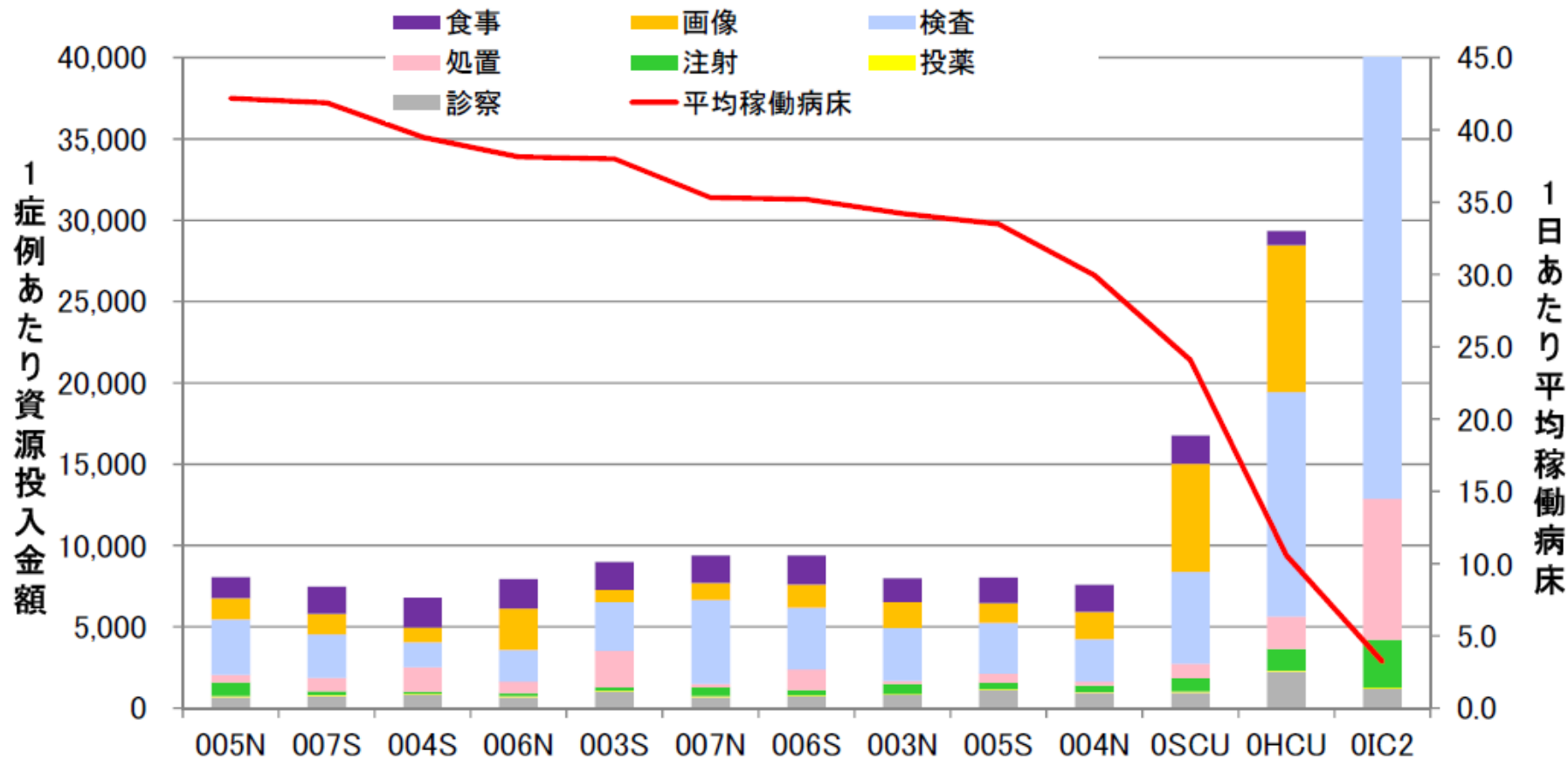
【病棟別 1症例(ベット)あたり資源投入金額】 手術請求・入院請求・その他の請求を除く

【公立B病院(300床以上)】



【病棟別 1症例(ベット)あたり資源投入金額】 手術請求・入院請求・その他の請求を除く

【公立C病院(500床以上)】



ここまでのまとめ

- DPCデータから病棟毎の医療資源量を抽出することは可能である。
- DPC対象病院・準備病院ならばデータの提出は容易である。
- DPCデータでは、「病棟コード」は病院独自コードのため、コードと病棟名の紐付けが必要になる。
- 医療必要度から、各病院とも2～3パターンに病棟を分けることができる。